

▼ジャスケイド錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ネラドミラスト Nerandomilast 【分類】抗線維化・免疫調整剤 [PDE4B 阻害剤]

【単位】▼9mg・▼18mg/錠

【常用量】1回18mgを1日2回 [忍容性に応じて1回9mg1日2回に減量可]

○ピルフェニドン又は強い若しくは中程度のCYP3A誘導剤併用時は減量しない

○強いCYP3A阻害剤と併用する場合は1回9mg1日2回投与に減量

【用法】1日2回

【透析患者への投与方法】設定されていない(1)

【保存期CKD患者への投与方法】eGFR 15mL/min/1.73m²未満：臨床試験未実施 (1) 腎機能低下時にわずかにAUCが増大するが、臨床的に意味のある変化ではない(1)

【特徴】PDE 4Bに対する選択性の高い阻害剤で、肺線維症において過剰発現される線維化促進増殖因子及び炎症性サイトカインの発現が減少し、抗線維化作用及び免疫調整作用をもたらす。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】CYP3Aによる酸化及び複数のUGT酵素によるグルクロン酸抱合によって代謝(1) P-gpの基質(1)

【排泄】尿中未変化体排泄率12% [po, 9日まで](1)

【CL/F】274mL/min (1)

【t1/2】10hr (1)

【蛋白結合率】77% (1)

【Vd】94L/body [iv,ss] (1)

【MW】448.97

【透析性】

【OW係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20260526

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。